

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1116	(H.24)No.	1116
-----------	------	-----------	------

事務事業名		名張らしさ観光商品企画・販売事業		
担当部局名		担当室名	室長名	連絡先
産業部		観光交流室	永岡 良仁	63-7648
新・継	事業期間		根拠法令等	
継続	平成 22 年度 ~ 平成 23 年度			

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施策	2	観光
	小施策	1	魅力ある観光地づくり
	重点施策コード	2-6.名張ブランドづくりの推進(名張ブランドの確立と発信)	

2. 予算区分

会計区分		事業コード	363803
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	商工費	ふるさと雇用再生特別基金事業	
項	商工費	(小事業名)	
目	観光費	名張らしさ観光商品企画・販売事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>「名張らしさ」とは何かを研究し見出す。 地域資源の再発掘は観光戦略を確立し、観光宣伝を行っていく指針となり、そこから生み出される観光商品を造成し、これを販売することによって観光客誘致を促進し、地域の観光産業の活性化を図っていく。 業務委託先:名張市観光協会</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>名張らしさを前面に押し出した観光商品の企画を行い、販売することで観光振興を図る。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	・委託料 名張らしさ観光商品企画・販売事業 臨時職員2名 4,584千円 間接経費 102千円	ふるさと雇用再生特別基金事業の終了に伴い、委託先の自主事業として事業実施のため、市としての事業は終了。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
直接事業費	4,687千円				
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金	4,687			
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 0	0	0	0	0
人工数	職員	0.22人			
	臨時職員等	0.02人			
概算人件費	(0千円) 1,640千円	0千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 6,327千円	0千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	人	-	-	-	-	480,000
	実績		297,000	461,000	312,000	376,964	
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
名張らしさの観光商品として「やしんぼセット」の販売促進及び新たな企画を模索したことにより、観光入込客数の増加につなげることができた。	ふるさと雇用再生特別基金事業の終了に伴い、委託先で自主事業として継続的に観光商品開発に取り組む。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
少子高齢化が進む中、高齢者が喜ぶものを企画することが必要	観光誘客のために、地域性に見合った個性的な観光メニューの創出が求められている。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢) の場合 (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項

ふるさと雇用再生特別基金事業の終了に伴い、事業完了。